



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）岸 和宏
 問合せ先責任者 （役職名）IR・ガバナンス統括部長 （氏名）久米 清隆 TEL 042-546-2305
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	35,097	9.2	585	△66.9	1,104	△43.3	128	△91.4
2026年3月期第1四半期	32,136	1.4	1,767	30.8	1,948	10.9	1,487	34.5

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 717百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △463百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.70	—
2026年3月期第1四半期	66.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	113,071	76,363	59.5	2,995.37
2026年3月期	112,244	76,926	60.3	3,013.47

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 67,299百万円 2026年3月期 67,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	55.00	—	60.00	115.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	3.8	8,000	4.3	7,500	△6.3	5,000	1.0	222.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -, 除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	25,000,000株	2026年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,532,194株	2026年3月期	2,532,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	22,467,807株	2026年3月期1Q	22,328,563株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における世界経済は、中東情勢等の地政学リスクが継続し、それに伴い原油をはじめとする資源価格高騰による物価上昇や為替変動等、先行きは不透明な状況が継続しました。

当社グループが注力する自動車関連市場は、米国の関税政策見直しの影響が一部残り、また中東情勢の影響により石油化学製品等の原材料価格が高騰している状況ではありますが、当社では前年度よりスタートした中期事業計画の2年目として、「成長戦略」によるビジネスの拡大と「コスト構造改革」による収益力の強化に注力し、更なる成長の実現に向けた取り組みを行いました。成長戦略の中核となる「モビリティ関連ビジネス」においては、長年培ってきた車載向けスピーカの品質とグローバルな安定供給体制を強みとして、新規ビジネスの獲得や自動車1台あたり当社製品搭載数の増加等、車載関連ビジネスの受注を増やすことに注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、35,097百万円（前年同期比9.2%増）、損益面では、営業利益が585百万円（前年同期比66.9%減）、経常利益が1,104百万円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が128百万円（前年同期比91.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

（スピーカ事業）

中国における一部の自動車メーカー向けのスピーカ販売が想定通り落ち込んだ一方、ブランド・プレミアムレベルにフォーカスした新たな顧客ベースを構築する販売戦略の推進等により、売上高は28,610百万円（前年同期比7.5%増）となりました。一方損益面では、上記一部の自動車メーカー向けのスピーカ販売落ち込み、米国関税および資材費高騰に伴う追加費用の一時的負担、中国人民元高の影響等により、営業利益は70百万円（前年同期比95.4%減）となりました。

（モバイルオーディオ事業）

主要顧客向けイヤホン・イヤホンドライバの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は3,574百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は312百万円（前年同期比55.4%増）となりました。

（その他事業）

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音・警報音用スピーカの販売が堅調だったこと等から、売上高は2,912百万円（前年同期比21.6%増）となりました。損益面では、売上高の増加および構造改革による収益構造の改善により、営業利益は201百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

（注）上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に有形固定資産の増加により前連結会計年度末に比べ826百万円増加して113,071百万円となりました。負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ1,389百万円増加して36,707百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ563百万円減少して76,363百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比0.8ポイント減の59.5%になりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ676百万円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益等により465百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、設備投資等により2,023百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加等により1,355百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想については、今第2四半期以降において、当社が一時的に負担した米国関税分の還付が見込まれること、また資材費高騰にかかる追加コストについて顧客より回収が見込まれること等から、現時点において、2026年5月15日の決算短信で公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,235	19,567
受取手形及び売掛金	25,998	24,802
電子記録債権	755	824
有価証券	426	408
製品	17,575	18,428
原材料	10,945	11,064
仕掛品	1,667	1,675
貯蔵品	496	369
未収入金	2,243	2,389
前渡金	441	542
その他	2,804	3,119
貸倒引当金	△61	△68
流動資産合計	83,529	83,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,722	7,976
機械装置及び運搬具（純額）	7,354	7,537
工具、器具及び備品（純額）	2,374	2,301
土地	3,581	3,597
建設仮勘定	3,216	4,137
有形固定資産合計	24,249	25,550
無形固定資産		
ソフトウェア	346	325
その他	141	134
無形固定資産合計	488	460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,957	2,180
長期前払費用	96	97
退職給付に係る資産	1,292	1,184
繰延税金資産	454	333
その他	176	139
投資その他の資産合計	3,977	3,935
固定資産合計	28,715	29,947
資産合計	112,244	113,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,931	13,344
短期借入金	5,853	8,854
1 年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	3,348	3,473
リース債務	439	500
未払法人税等	1,139	660
未払費用	3,369	2,558
賞与引当金	659	588
その他	1,333	2,601
流動負債合計	31,675	33,182
固定負債		
長期借入金	1,050	900
繰延税金負債	846	858
リース債務	1,024	1,027
退職給付に係る負債	130	132
役員退職慰労引当金	14	15
株式給付引当金	20	20
その他	555	570
固定負債合計	3,642	3,524
負債合計	35,318	36,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,036	7,036
利益剰余金	42,744	41,851
自己株式	△3,822	△3,822
株主資本合計	52,728	51,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	930	1,090
為替換算調整勘定	14,255	14,573
退職給付に係る調整累計額	△207	△200
その他の包括利益累計額合計	14,977	15,463
非支配株主持分	9,220	9,064
純資産合計	76,926	76,363
負債純資産合計	112,244	113,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	32,136	35,097
売上原価	26,517	30,108
売上総利益	5,618	4,989
販売費及び一般管理費	3,850	4,403
営業利益	1,767	585
営業外収益		
受取利息	60	69
受取配当金	19	33
為替差益	154	508
雑収入	72	43
営業外収益合計	307	655
営業外費用		
支払利息	89	80
持分法による投資損失	4	11
雑損失	33	43
営業外費用合計	126	136
経常利益	1,948	1,104
特別利益		
投資有価証券売却益	295	—
特別利益合計	295	—
税金等調整前四半期純利益	2,243	1,104
法人税、住民税及び事業税	391	575
法人税等調整額	△32	101
法人税等合計	359	676
四半期純利益	1,884	427
非支配株主に帰属する四半期純利益	396	299
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,487	128

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	1,884	427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	160
為替換算調整勘定	△2,155	119
退職給付に係る調整額	32	10
その他の包括利益合計	△2,347	289
四半期包括利益	△463	717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△499	613
非支配株主に係る四半期包括利益	36	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,243	1,104
減価償却費	778	935
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	47	83
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△197	△658
投資有価証券売却損益 (△は益)	△295	—
受取利息及び受取配当金	△80	△103
支払利息	89	80
為替差損益 (△は益)	△37	76
持分法による投資損益 (△は益)	4	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△811	1,016
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,041	△840
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,340	△1,487
未収入金の増減額 (△は増加)	△224	△191
未払金の増減額 (△は減少)	140	106
前渡金の増減額 (△は増加)	△111	△97
その他	774	1,452
小計	2,040	1,498
利息及び配当金の受取額	80	103
利息の支払額	△89	△80
法人税等の支払額	△711	△1,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,320	465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	401	—
投資有価証券の売却による収入	564	—
有形固定資産の取得による支出	△774	△1,972
無形固定資産の取得による支出	△24	△12
長期前払費用の取得による支出	△54	△46
その他	△29	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	84	△2,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,414	2,918
長期借入金の返済による支出	△150	△150
配当金の支払額	△896	△1,020
非支配株主への配当金の支払額	△266	△273
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△132	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	969	1,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△903	△473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,471	△676
現金及び現金同等物の期首残高	20,771	20,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,243	19,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「雑損失」に含めていた「持分法による投資損失」は、金額的重要性が増したため、前中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「雑損失」に表示していた4百万円は、「営業外費用」の「持分法による投資損失」として組替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「持分法による投資損益」は、金額的重要性が増したため、前中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた4百万円は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「持分法による投資損益」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	26,614	3,125	2,395	32,136	—	32,136
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	697	697	△697	—
計	26,614	3,125	3,093	32,834	△697	32,136
セグメント利益	1,559	201	6	1,767	—	1,767

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	28,610	3,574	2,912	35,097	—	35,097
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	1,104	1,104	△1,104	—
計	28,610	3,574	4,016	36,202	△1,104	35,097
セグメント利益	70	312	201	585	—	585

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。